

## 創出される都市祭礼 小山両社祭にみる慣習と非慣習の絡み合い

### 卒論構成

|   |  |
|---|--|
| <p>第 1 章 序論</p> <p>第 2 章 近年の都市祭礼研究について</p> <p style="padding-left: 20px;">2 - 1、 出し物の変化</p> <p style="padding-left: 20px;">2 - 2、 祭礼組織の変化</p> <p style="padding-left: 20px;">2 - 3、 祭礼空間の変化</p> <p style="padding-left: 20px;">2 - 4、 R.ワグナーの視点から</p> <p>第 3 章 小山両社祭とその背景</p> <p style="padding-left: 20px;">3 - 1、 現在の小山両社祭</p> <p style="padding-left: 20px;">3 - 2、 両神社の歴史</p> <p style="padding-left: 20px;">3 - 3、 両社周辺空間の歴史の変遷</p> <p>第 4 章 両社祭の原形「天狗まつり」</p> <p style="padding-left: 20px;">4 - 1、 天狗まつりとは</p> <p style="padding-left: 20px;">4 - 2、 武蔵小山商店街の発展の歴史</p> <p style="padding-left: 20px;">4 - 3、 天狗まつり終焉と両社祭誕生</p> | <p>第 5 章 両社祭の形成に伴う担い手の変化</p> <p style="padding-left: 20px;">5 - 1、 両社祭誕生への第一歩</p> <p style="padding-left: 20px;">5 - 2、 両社祭の形成過程</p> <p style="padding-left: 20px;">5 - 3、 第三の担い手グループがもたらした影響</p> <p>第 6 章 近年の都市祭礼研究について</p> <p style="padding-left: 20px;">6 - 1、 商店街店舗状況の変化と出し物の増加</p> <p style="padding-left: 20px;">6 - 2、 路線変化に伴う記念商品の変化</p> <p style="padding-left: 20px;">6 - 3、 武蔵小山駅駅前広場整備事業に伴う街の変化</p> <p>第 7 章 結論</p> |
|---|--|

### 卒論要旨

近年の都市社会学・都市人類学における都市祭礼研究では、祭の出し物・祭礼組織・祭礼空間などの変化に着目し、その背景に「近代化」や「観光地化」という言葉を挙げることで、はっきりと変化の前後は二分されていた。だが、都市祭礼を語る上で大切なのは、社会的背景の変化ではなく、変化のプロセスそのものについて歴史的な過程を経て緻密に追ってゆくことではないだろうか。

この視点から、本論では東京都品川区における小山両社祭という都市祭礼を例に挙げ、担い手の価値観を軸に、小山両社祭の原型となる天狗まつりから両社祭誕生、成立、そして現在の姿を時間の流れに沿って細かく追いかけて、伝統として続いてきたものと新しく入ってきたものとの絡み合いの中で祭りが創り出されてゆく都市祭礼の姿を論じた。

この現象を、文化人類学者 R.ワグナー（1975）の言葉を借りて表すならば、慣習と非慣習との関わり合いによる文化の創出であると言えるだろう。常に流動体として変わりゆく都市において、まさにこの創出という行為こそが祭を維持・発展させてゆくエネルギー源となるのではないだろうか。

### <主要参考文献・資料>

- ・名倉俊衛 1991 『ふるさと 小山の 村から街へ』 非売品
- ・品川区 1973 『品川区史 通史編（上巻・下巻）』 品川区
- ・R. ワグナー著（山崎美恵、谷口佳子訳）2000 『文化のインベンション』 玉川大学出版部
- ・『小山両社祭 神輿連合渡御実施要領』 1991～2005 年分 武蔵小山商店街振興組合保管物
- ・両社祭（1986～2002 年）写真資料 武蔵小山商店街振興組合保管物
- ・『神輿物語』（VHS）武蔵小山商店街振興組合製作・保管物

